

科目名	比較心理学			ナンバリング	PSY261	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	大原貴弘	担当教員					

授業の概要	人間の行動や心理を深く理解するためには、人間を「多様に進化してきた動物のなかの一種」として捉え、他の動物の心理や行動と比較することが非常に有効である。本講義では、ヒトと他の動物たちの心理・行動を比較することで、ヒトを含めた動物たちの心理・行動について進化の観点から説明できるようにすることを目的とする。具体的には、動物たちの知覚機能や求愛・子育て行動、自己・他者理解、道具使用行動などについて取り上げ、さらに、進化心理学の観点から、ヒトの性的魅力・嫉妬や道徳行動などについても取り上げてゆく。						
到達目標	1. 比較心理学の体系的知識について説明できる。 2. 比較心理学の観点から、動物たちの心理・行動を説明できる。 3. 進化心理学の観点から、ヒトの心理・行動を説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	板書や授業内容を書き取っておいて、講義内で提示される用語の意味を説明できるようにする。さらに、キーワード同士の関係性を考えて現象を説明できるようにする。また、小テスト提出後に配付される解答例を通して、授業内容の復習をする。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 動物たちの知覚機能、求愛・子育て行動について、指定した用語をすべて用いて、指定した分量で説明できる。 2. 動物たちの自己・他者理解、道具使用行動について、指定した用語をすべて用いて、指定した分量で説明できる。 3. 進化心理学について、指定した用語をすべて用いて、指定した分量で説明できる。 4. 毎回の授業において、授業内容に対する疑問・感想などを述べることができる。	1. 動物たちの知覚機能、求愛・子育て行動について、指定した用語を適切に用いて、適切な論理構造で説明できる。 2. 動物たちの自己・他者理解、道具使用行動について、指定した用語を適切に用いて、適切な論理構造で説明できる。 3. 進化心理学について、指定した用語を適切に用いて、適切な論理構造で説明できる。 4. 毎回の授業において、授業内容に対する疑問・感想を多面的な視点から述べるができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○			○		80%
宿題・授業外レポート	○	○			○		10%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	毎回、小テストを課すが、その解答提出時に、解答例を配付する。
---------------	---------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	進化という観点からの心の理解	授業の進め方、比較心理学、進化心理学の概要	
	第2回	昆虫たちの知覚世界	ティンバーゲン、ミツバチ・チョウの視覚・色覚機能	
	第3回	動物たちの知覚世界	ユクスキュル、イヌなどの知覚機能、ヒトの色覚の進化	
	第4回	動物たちの求愛行動	求愛行動・形質の性淘汰	
	第5回	ヒトの性的魅力の進化	ヒトの性的魅力の性差、性淘汰	
	第6回	ヒトの匂いの魅力や性的嫉妬の進化	匂いの魅力、身体的・精神的浮気への嫉妬感情の進化	
	第7回	鳥類の親子間の行動	就巢性・離巢性、托卵、刷り込み	
	第8回	ほ乳類の親子間の行動	晩成性・早成性、愛着形成、解発刺激	
	第9回	動物たちの自己認識	チンパンジー・ゾウ・イルカの自己認識、マークテスト(ルージュテスト)	
	第10回	類人猿とヒトの他者理解	心の理論、「誤った信念」課題、自閉症	
	第11回	霊長類の視線理解	「見ることは知ること」の理解、チンパンジー・カラスの視線理解	
	第12回	動物たちの道具使用・模倣行動	チンパンジー・カラスの道具使用・模倣行動	
	第13回	ボノボの道具使用行動	ボノボの「カンジとパンパニーシャ」による道具使用・問題解決行動	
	第14回	道徳行動の進化	利他行動、互惠性、裏切り者の検知	
	第15回	ヒトはどこから来て、どこへ行くのか	ヒトの心と行動の進化	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		1. 授業開始時に、小テストの問題と用語を提示する。 2. 授業終了後、解答時間を設け、小テストに解答してもらう。 3. 小テストを提出後、解答例を配付する。		
授業外学習の指示		1. あらかじめ、授業内容について調べておくこと。 2. 小テストの提出後、解答例を通して、自分の説明の不備や不明な点について確認し、次回の小テストの参考にすること。 (授業外学習時間: 毎週 120 分)		

教科書	毎回配布する資料に従って、授業を進めてゆく。
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	特になし。
その他	